



# 埋文・アラカルト

平成22年度出土遺物巡回展

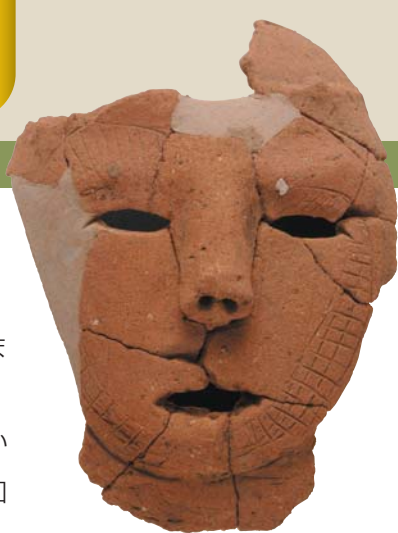
お知らせ  
コーナー

## 房総発掘ものがたり

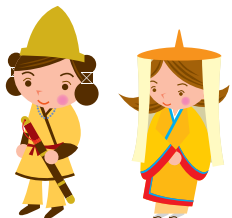
「北から 西から 海路から—房総三万年の交流—」をテーマに、旧石器時代から近世までの地域間交流をご紹介します展覧会を7月から県内各地で開催中です。

右は、君津市鹿島台遺跡3号墳出土の5世紀頃の埴輪です。顔の一部のみですが、眉から顎にかけてグルリと模様が刻まれています。入れ墨を表現したものでしょう。また口の上下にはいくつも穴があって、歯を表現したものとみられます。

歯を表現した埴輪は珍しく、「盾持ち埴輪」にほぼ限って見られます。また、顔の周りに入れ墨を施す埴輪も関東地方では珍しく、奈良県や大阪府などの近畿地方からの影響かもしれません。



君津市鹿島台遺跡出土埴輪



こんな資料を展示しています！



柏市大松遺跡出土縄文土器（展開写真）

左は、柏市大松遺跡出土のおよそ5,000年前の縄文土器の展開写真です。小さな突起で器の縁を飾り、外面を模様で埋め尽くしています。北陸の馬高式系土器や、東信州から北関東の焼町土器の影響を受けた特異な土器です。こうした土器から、当時の人々の交流をうかがい知ることができます。

見に来てね!!



今後の  
展示会場と  
開催期間

- ◆館山市立博物館・・・平成22年 9月18日(土)～10月31日(日)
- ◆八千代市立郷土博物館・・・平成22年11月 6日(土)～12月 5日(日)
- ◆千葉県立関宿城博物館・・・平成22年12月11日(土)～平成23年1月16日(日)
- ◆千葉県立中央博物館・・・平成23年 1月22日(土)～ 2月27日(日)

## 発掘調査報告書 新刊のご案内

発掘調査の成果をまとめた報告書の販売も行っています。10月1日には新たに9冊の報告書を販売開始します。遺物出土巡回展で展示中の館山市萱野遺跡や、広報紙で以前取り上げました印旛村松虫陣屋跡（現印西市）の報告書も含まれています。

詳細やお求め方法はホームページ、もしくは下の電話番号にお気軽にお問い合わせください。



くわしく  
知りたい方に  
オススメ!



### ▲印旛村松虫陣屋跡

屋敷→城→屋敷への変遷が解明されました。

### ☒館山市萱野遺跡出土遺物

安房地域初の弥生の環濠集落、出現期古墳が明らかになりました。



VOL. 49



ISSN 0919-0848  
Boso no Bunkazai

平成22年9月23日 財団法人 千葉県教育振興財団

〒284-0003 千葉県四街道市鹿渡809-2

TEL 043-422-8811 (代) FAX 043-422-8850

[http://www.echiba.org/bunkazai\\_top.html](http://www.echiba.org/bunkazai_top.html)



窯跡の東側から、大量の瓦が捨てられた川の跡が見つかりました。遺跡見学会では、ゆがんだ瓦に注目が集まりました。

—北下遺跡（市川市）—

## contents

◆発掘調査速報

北下遺跡（市川市）

◆発掘調査速報

—現地説明会のお知らせ—

小西城跡（大網白里町）

◆埋文・アラカルト

出土遺物巡回展ほか



## 発掘調査速報 北下遺跡

# 川の跡から 瓦、祭祀遺物 見つかる!!

市川市北下遺跡から、奈良・平安時代の川の跡や道などが発見されました。下総国分寺の瓦を焼いた「北下瓦窯跡」に隣接し、推定下総国府域の東端にあたる場所に位置します。

発見された墨書土器には、「結郡浄 幸」（下総国結城郡のことか、以下同じく推定）や「浮島郷長 井」（下総国浮島駅周辺の郷）などの郡・郷名を記したもののや、「金」（金寺すなわち国分僧寺）や「講院」（国分寺の施設の講師院）など国分寺関連のものがあります。また、「阿豆古刀自女身替」と記された土器も見つかりました。「阿豆」は氏族名、「古刀自女」は女性の名前、「身替」は自分の替わりという意味で、病気や不浄などの穢れや罪を祓い清めるために使われた土器と考えられます。

さらに仏像や人面を描いた墨書土器や、斎串・形代（人形・馬形）などの木製品も出土しました。いずれも穢れを祓うために使われたようです。この他にも木製の弓や漆を塗った容器など、低地遺跡ならではの発見もありました。



出土遺物巡回展で  
北下遺跡も展示  
しています。



◆下総国府域概念図  
山路直充「ヤマトタケルの江戸川伝説」『市史研究いちかわ』創刊号  
市川市 2010より加筆転載



▲仏像墨書土器  
眉間の上の白毫など、  
仏像の表現が見られます。



▲人面墨書土器  
側面に3つの顔が、底には  
「西」と墨書されています。



神門朝弦力  
奉

▲斎串  
神さまを呼  
んだり、お祓い  
に使いました。  
(長さ13.4cm)

▲弓(部分)  
先の尖った道具  
で弓の中央付近  
に文字が刻まれ  
ています。  
(長さ82cm)

▲人形  
墨で描いた目や  
鼻の痕跡が残っ  
ています。  
(長さ19cm)

## 発掘調査速報 小西城跡

# 戦国 原氏の要害 発掘!!

大網白里町季美の森に隣接する小西城跡の発掘調査が、現在順調に進んでいます。千葉氏の重臣である原氏が築いた戦国時代の城郭で、当時の面影を良く残しています。本城・中城・外城・古城と呼ばれる郭を深い空堀で区画し、とりわけ、本城は近世城郭に通じる高度な築城技術によって築かれたことがわかってきました。



▲中城西側の堀  
右手の台地側は盛土して急な  
崖面を作り、左手には深く  
大きな堀を巡らしています。



▲外城虎口(出入口)  
北側の土塁から、堀越し  
に見たところです。



▲小西城周辺図  
本来同族であった土気と東金の両酒井氏  
が争うようになった戦国後期に、原氏は  
小西城に拠って戦国を生き抜きました。

## 現地説明会のお知らせ -小西城跡-

現在発掘中の本城や中城の土塁や空堀、建物跡などが見学できます。

- 日 時：平成22年10月23日(土) 午後1時～3時  
(小雨決行・大雨中止)
- 場 所：大網白里町季美の森五丁目先 小西城跡
- 行き方：JR大網駅前から、午前12時15分から午後2時15分の間、  
15分間隔で無料送迎バスを運行します。

※バス降車後、現地まで山道を5分ほど登りますので、靴・服装などにご注意ください。  
※駐車場は10台程度ですので、大網駅からの無料送迎バスをご利用ください。  
※当日の問い合わせ 電話：043-292-2407 中央調査事務所



旧石器時代

縄文時代

弥生時代

北下遺跡

小西城跡

古墳時代

平安時代

鎌倉時代

室町時代

江戸時代

明治

昭和

約12,000年前

約2,300年前

約1,700年前

飛鳥時代

奈良時代

710

794

1,492

1,433

1,573

1,603

安土・桃山時代

大正